



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	一般県道 <small>いたがたまだ</small> 板荷玉田線 鹿沼市 <small>へつり</small> 辺釣地内 辺釣工区 L=910m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

事業の概要

【目的】

一般県道板荷玉田線は、鹿沼市北東部の板荷地区から鹿沼市中心部の玉田地区を結び、沿線地域の日常生活を支える主要な幹線道路である。

本事業区間は、道路幅員が狭小（5.5m）であることから、大型車のすれ違いが困難となっており、安全で円滑な通行に支障をきたしている。また、道路東側の斜面は土砂災害警戒区域に指定されており、平成27年関東・東北豪雨や令和元年10月の台風19号においても土砂流出により通行止めとなるなど防災上の観点からも課題がある。

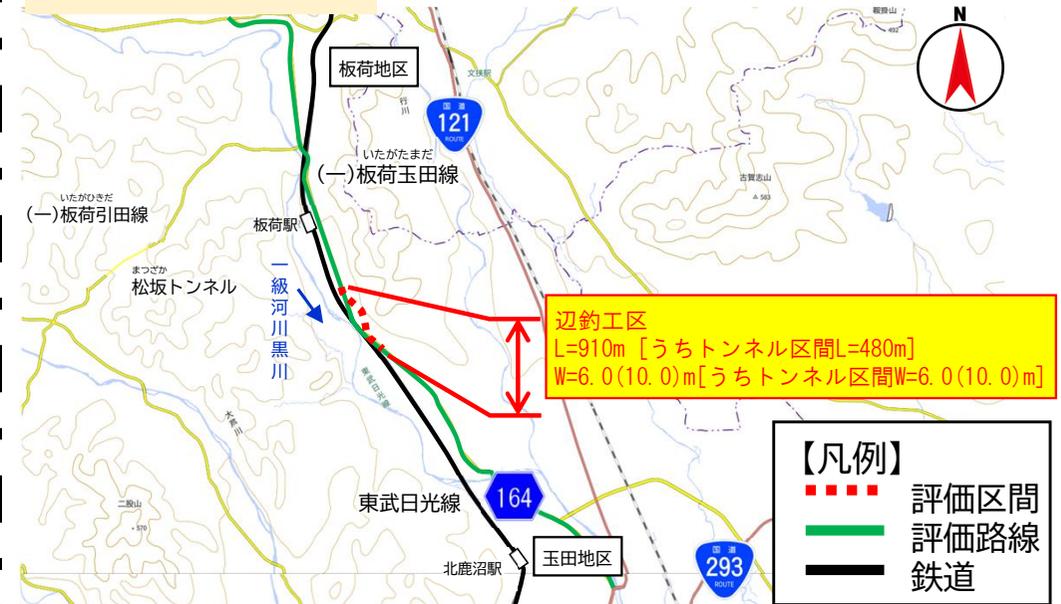
本事業により、狭隘な区間を拡幅するとともに、土砂災害警戒区域を東側に迂回するトンネルを整備することで、通行止めによる緊急車両通行の大幅な迂回を解消し、車両の安全で円滑な通行の確保を図るものである。



【現況】

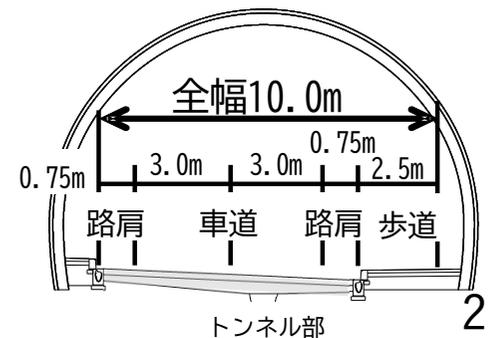
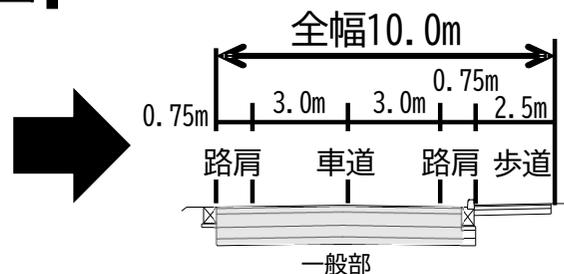
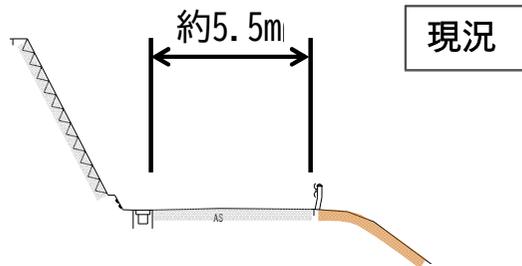
目標事業期間 [変更前]	令和2(2020)年度～令和13(2031)年度 (令和2(2020)年度～令和7(2025)年度)
事業経過	令和 1(2019)年度 事業化 令和 2(2020)年度 用地調査に着手 令和 4(2022)年度 用地着手 令和 7(2025)年度 再評価(今回)
全体事業費 [うち用地補償費]	43.0(27.0)億円 [2.0(1.0)億円] ※()は前回計画時
事業延長 [うち整備済延長]	L=910m [L= 0m]
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 2.7億円 6% [うち用地補償費 0.9億円 45%]

【事業概要図】



計画一般図

【標準横断図】



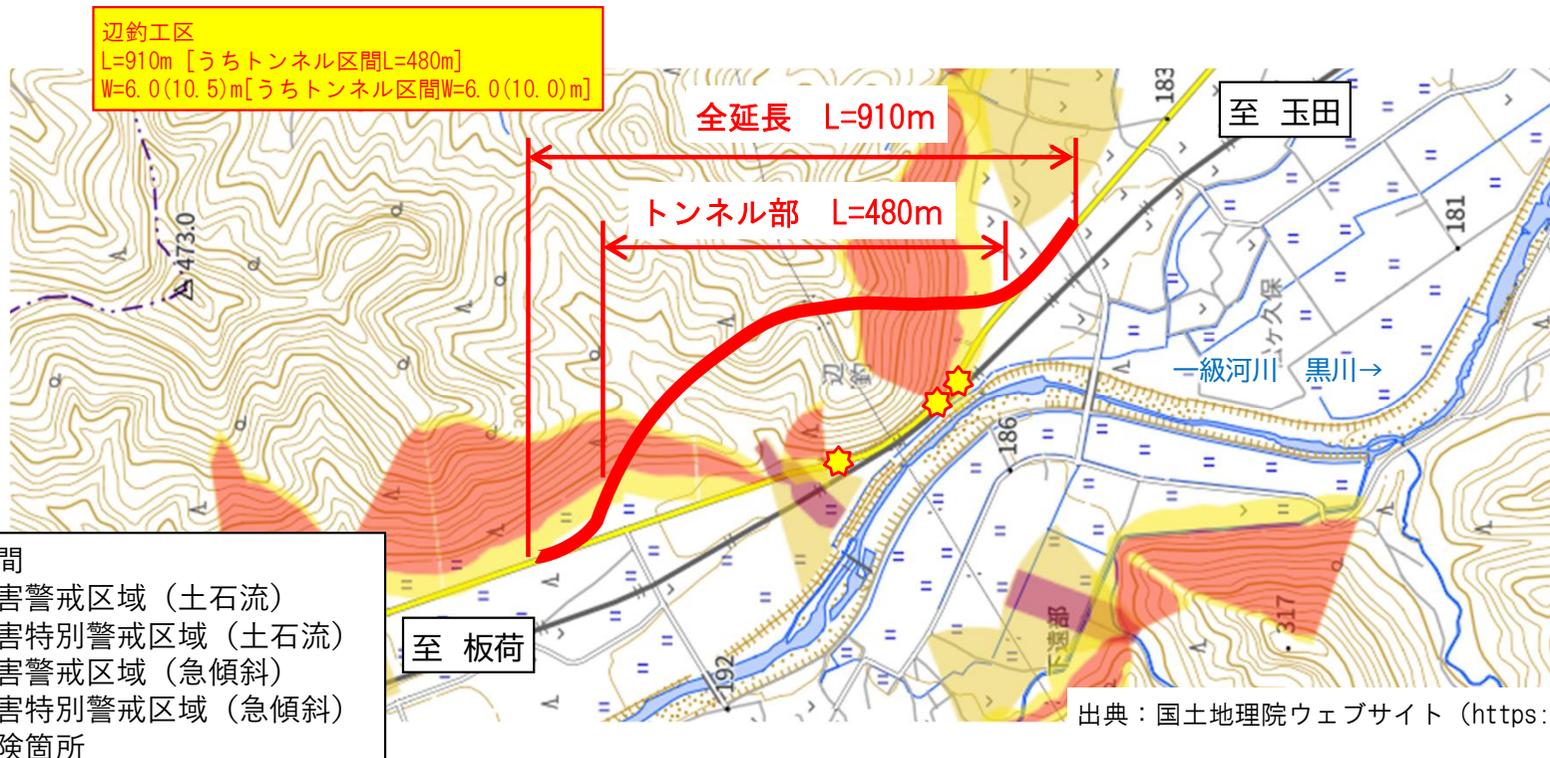
事業の概要

【事業内容】

■ 現況写真



■ 平面図



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

・ 事業期間の見直し
令和7年度 ⇒ 令和13年度

・ 総事業費の見直し
27億円 ⇒ 43億円

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R1年度)	今回計画
	事業費	27.0億円	⇒ 43.0億円 (+16.0億円)
内	工事費	26.0億円	⇒ 41.0億円 (+15.0億円)
訳	用地補償費	1.0億円	⇒ 2.0億円 (+1.0億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益 (B)	総費用 (C)
(1) 事業全体	局所的な防災対策事業のため対象外		
(2) 残事業			

2 事業の整備効果等

・ 道路の拡幅や、土砂災害警戒区域等を迂回するトンネルの整備により、平常時、災害時を問わない安定的な輸送が確保されるため、板荷地区～玉田地区の安全で円滑な交通が確保される。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

1 事業の進捗状況

・全体事業進捗率	6%
用地	45%
工事	0%

2 今後の事業進捗の見込み

・用地買収を推進し、来年度の一般部の工事着手を目指す。併せて、工事を推進し、令和13年度を目標に事業完了を図る。



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

・大規模な斜面と東武日光線に挟まれた現地条件の制約や、現時点で事業用地面積の95%を取得済みであることから、代替案立案は困難である。

【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。